

2026年度診療報酬改定を受けて

知っておきたい、
これからの

緩和ケア

のこと

～ **がん** から **非がん** 疾患まで～

「緩和ケア」という言葉を聞くと、「がんの患者さんのためのケア?」「治療が難しくなったときに切り替えるものでは?」など、思い浮かべる人もいるかもしれません。しかし時代や医療の変化によって、こうしたイメージはそれぞれ、「緩和ケアはがんに対するものに限らない」「ケースによっては治療と並行して早期に進めていく」というように変わってきています。

そして、2026年度の診療報酬改定では、末期腎不全と末期呼吸器疾患が緩和ケア関連の加算の対象になるなど、緩和ケアの対象の広がりは制度にも反映されています。

本特集では、こうした変化をふまえて、おさえておきたい最新の緩和ケアのことをまとめました。緩和ケアに関する印象や知識をアップデートし、今、そしてこれから緩和ケアを必要とする患者さんに最適なケアを提供するための1歩を進めましょう。



〔編集・執筆〕山口 崇 やまぐち・たかし
甲南医療センター 緩和ケア内科 部長

総合内科専門医、緩和医療専門医。疾患や年齢を問わず、専門的緩和ケアの知識・技術を基盤に、地域を面でとらえた緩和ケアの提供体制の構築と、人材育成・教育に取り組んでいる。

Contents

Part1	これからの時代の緩和ケア がん以外の疾患や多疾患併存、フレイルなどをふまえて	P.34
Topic1	これからの時代に必要な緩和ケアとは、どんなもの？	P.34
Topic2	疾患による「病みの軌跡」の違いと緩和ケア導入のタイミング	P.36
Topic3	これからの緩和ケアで大切な看護師の役割	P.41
Part2	疾患別・緩和ケアの最新のポイント	P.46
1	がん	
	①がん：疾患の理解 診断のときから始まる、がんの緩和ケア	P.46
	②がん：看護におけるポイント 疼痛やせん妄の「サイン」を見逃さず、必要なケアを行う	P.54
2	心不全	
	①心不全：疾患の理解 心不全では、治療も緩和ケアの一側面になる	P.60
	②心不全：看護におけるポイント 増悪と緩和を繰り返す経過に注意して、患者を見る	P.66
3	非がん呼吸器疾患	
	①非がん呼吸器疾患：疾患の理解 「息苦しさ」の背景を理解してケアにつなぐ	P.72
	②非がん呼吸器疾患：看護におけるポイント 患者さんが陥る「悪循環」や特有の苦痛を把握しよう	P.78
4	慢性腎臓病（CKD）	
	①慢性腎臓病（CKD）：疾患の理解 腎代替療法を「選択しないという選択」も視野に、緩和ケアを考える	P.85
	②慢性腎臓病（CKD）：看護におけるポイント 症状や選択の多様さを意識し、広い病期を見ずえる	P.93

Part1

これからの時代の 緩和ケア

「緩和ケアは時代とともに変わってきている！」というけれど、実際に何がどう変わったのか？ さまざまな疾患にどう向き合えばよいのか？ そんなギモンに答えます。緩和ケアに必要なベースの知見をここでマスター！

Part2

疾患別・ 緩和ケアの最新のポイント

緩和ケアの対象となる疾患について、緩和ケアを考えるときに重要な疾患の理解と、実際の看護でのポイントを示しました。これまでも緩和ケアの対象となっていたがん、心不全に加え、新しく知っておきたい呼吸器疾患と慢性腎臓病（CKD）の緩和ケアについても解説！